

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 26 年 5 月 22 日 (2014.5.22)

【公開番号】特開 2012-141248 (P2012-141248A)
 【公開日】平成 24 年 7 月 26 日 (2012.7.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-029
 【出願番号】特願 2011-743 (P2011-743)
 【国際特許分類】

G 0 1 D 5/245 (2006.01)

G 0 1 D 5/347 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 D 5/245 1 1 0 J

G 0 1 D 5/347 1 1 0 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 26 年 4 月 4 日 (2014.4.4)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

所定のパターンが形成された回転符号板および測定対象の回転軸に固定するための固定孔を有し、前記回転軸に固定可能な円板部と、

前記所定のパターンを検出する検出部を含む基板部と、

前記基板部を保持するとともに、前記円板部の一部と嵌合して前記円板部を収容する本体部と、を備え、

前記円板部は、前記固定孔に連通しタップ部が設けられる取付孔を有し、前記回転符号板および前記検出部が前記固定孔に対して同心が取れた状態で保持部材が前記基板部を介して前記タップ部に取り付けられることで前記基板部に対して一体に保持されることを特徴とするエンコーダ。

【請求項 2】

前記取付孔の径は、前記固定孔の径よりも小さいことを特徴とする請求項 1 に記載のエンコーダ。

【請求項 3】

前記取付孔は、前記回転軸に前記円板部を固定する固定ねじを取り付けるための孔を兼ねることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載のエンコーダ。

【請求項 4】

前記本体部は、前記検出部からの検出信号を処理する処理部を実装した基板部を含むことを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載のエンコーダ。

【請求項 5】

所定のパターンが形成された回転符号板と、固定孔および前記固定孔に連通するタップ部が設けられる取付孔と、を有する円板部と、前記所定のパターンを検出する検出部を含む基板部と、前記基板部を保持するとともに、前記円板部の一部と嵌合して前記円板部を収容する本体部と、を備え、前記円板部が、前記回転符号板および前記検出部が前記固定孔に対して同心が取れた状態で保持部材が前記基板部を介して前記タップ部に取り付けられることで前記基板部に対して一体に保持されたエンコーダを測定対象の回転軸に取り付ける方法であって、

前記固定孔に前記回転軸を挿入させつつ、前記本体部を前記測定対象上に配置する工程と、

前記円板部の一部が前記本体部に嵌合した状態で当該本体部を前記測定対象に固定する工程と、

前記保持部材を取り外すことで前記円板部及び前記本体部の嵌合状態を解消させる工程と、

前記円板部と前記回転軸とを固定する工程と、

を有することを特徴とするエンコーダの取り付け方法。

【請求項 6】

複数の前記保持部材を介して前記円板部が前記基板部に保持される場合において、取り外した前記保持部材を用いて前記本体部と前記測定対象とを順次固定することを特徴とする請求項 5 に記載のエンコーダの取り付け方法。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載のエンコーダを備えるモータ装置。